



# 夢をかたちに

週報

2008～2009 年度 RI 会長

李 東 建

RI2730 地区ガバナー

安満 良明

鹿児島市内分区ガバナー補佐 上原 一八

## 鹿児島東南ロータリークラブ

会長 野井倉 洋豪 副会長 山田忠茂 幹事 須部 純範

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [tounanrc@alto.ocn.ne.jp](mailto:tounanrc@alto.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 1933 回 No.20

平成 20 年 12 月 2 日 (火)

本日のプログラム

クラブ総会

12 月誕生日おめでとうございます

☆大石裕一郎君 (4 日) ☆須部純範君 (20 日)

☆安田雅朗君 (21 日)



12 月結婚記念日おめでとうございます

☆若松利秋君 (6 日) 市来学君 (8 日)

### 第 1932 回例会

#### 会長挨拶

野井倉洋豪会長

今回は1932回の例会です。今月は財団月間です。米国元大統領リンдон B.ジョンソンの報道担当官、およびロータリー財団学友であるビル・モイヤーは、ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することのべています。日本では財団とともに日本独自の米山奨学会があり活動を展開しています。具体的な活動については宝来財団委員長よりお話がありますので総論のみお話ししました。これらの活動はロータリアンの個々の浄財の提供により成りたっています。年次寄付金は当クラブでは年会費の中に一括して徴収させて頂いております。本年度は40周年記念として今までたまっているポイントを利用して、ポールハリス マルチプルポールハリス賞に多数参加してください。

#### <会務報告>

○クリスマス家族会・鹿児島市内新春合同例会出欠まだの方はご記入よろしくお願ひします。

○台北グランドパーク RC より週報が届いております。

○本日例会後理事会を行います。理事の方はお残りください。

○12月のロータリー為替レートは1ドル=96円です。

○ガバナー事務所より地区大会参加お礼の文書が届いております。また、ご意見改善等お気づきの点がありましたら、次年度にも申し送りますので、地区大会事務局に FAX でお願ひします。

#### <出席報告> 11月25日

会員数	37名	前々回出席者	21名
出席会員	18名	メイクアップ	16名
出席率	47.37%	出席訂正率	100%

#### スマイルボックス

☆野井倉洋豪君—本日はクラブフォーラム“ロータリー財団について”です。財団事業にご協力ください。

☆平塚五郎君—弊社の各報道により、ロータリー会員の皆様にご心配ご迷惑をおかけしました。お蔭様で再建に向けてスタート出来ます事に、感謝いたしております。これからも、宜しくご指導ご鞭撻のほどお願ひ申し上げます。

本日計 4,000 円 累計 171,000 円

**本日のプログラム** 寶来ロータリー財団委員長

①ロータリー財団に寄せて・・・ロータリー財団とは、国



際奉仕を支える財団であり、寄付の方法・使途の方法をよく理解して行動しなければならない。そのためには、財団シェアシステムを理解し、

国際ロータリー活動に参加し活発で有意義で楽しいロータリー活動を実現することです。その資金としてクラブ会員の寄付、クラブ財団または地区財団、個人の寄付、地元企業からの寄付、ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェロー、ベネファクターなどがあります。

会員の目標金額は 100 ドル以上です。またポリオプラスは、ゲイツ財団より米貨 1 億ドルの寄付があり、ロータリーはゲイツ財団の寄付と同額を集め計 2 億ドルにするため今年から 3 年間会員一人当たり 3000 円を寄付することになりました。

②米山奨学金

日本のロータリー創始者 米山梅吉さんを記念して東京クラブからはじまり、全国に広がりました。日本で学ぶ留学生への奨学金です。いわゆる、日本独特の事業であり思いやりの寄付や特別寄付から成り立っています。ロータリーの会員一人当たり、1000 円以上です。(当クラブでは一人当たり 3,000 円寄付しております)

**認証ポイントについて**

1000 ドルを年次寄付または使途指定寄付として寄付をしますと、ポール・ハリス・フェローになります。更に 200 ドル寄付して累計 1200 ドルになりますと、200 ポイントの認証ポイントが付きます。

寄付実績が 2000 ドルに達すると、この認証ポイントが 1000 となります。そうなりますと、自分がマルチプル・ポール・ハリス・フェローとなり、他の人をポール・ハリス・フェローに指名できます。他のロータリアン 2 人に 500 ポイントずつあげて、その 2 人に現金で 500 ドル寄付してもらい、二人をポール・ハリス・フェローにすることもできます。このように現金の寄付と認証ポイントを合計するのをマッチング・クレジットといいます。(恒久寄付金には認証ポイントが付きません)

恒久基金とは・・・寄付の元金は使わず、その収益(利子配当分等)を財団プログラムに活用する長期の活動資金である。この恒久基金忌避の認証者はベネファクターと呼ばれ、この寄付はクラブ表彰の対象、シェア・システムの対象にはならない。その後の収益は 50% がシェアシステムの対象となり地元へ還元される

**R I 事務総長から投資実績に関する報告 (抜粋)**

世界的な金融危機が続く中、ロータリーの投資の価値も市況に合わせて下降しています。9 月 30 日までの第 1 四半期の投資実績は以下の通りです。

国際ロータリー (R I) / 一般資金: -9.4%

ロータリー財団/年次プログラム基金: -9.6%、恒久基金: -10.1%、ポリオ・プラス基金: 0.9%

損失の大半は、所有する証券の市場価値下落によるもの(未実現損益)であり、証券を売却するまで実際の損失とはなりません。現時点で証券を売却する必要はありません。世界的な景気減退のため、これらの損失から完全に回復するには時間がかかるものと予想されます。ポリオ撲滅のための全資金は米国債に投資されており、良好な収益を出しています。ロータリーは健全なキャッシュフローを維持しており、投資債権を売却することなく、すべての運営費とプログラム経費を十分に賄うことができます。

ロータリー財団管理委員会は 10 月の会合で、財団の運営予備金を義務づけられた最低のレベルに戻し、職員に非常事態のプランを準備するよう要請しました。この計画には、必要な場合に経費を削減する選択肢も含まれています。

R I 理事会は 11 月の会合で、投資収益予備金を最高のレベルに戻しました。予備金は、投資収益が予算を下回った期間の運営経費を賄うものです。また R I 財務委員会は、2009-10 会計年度の予算を準備するにあたり、何点かの経費削減方法を提案しました。

経済的に困難な環境の中でも財務健全性を保つため、可能な限りの対策を取っていることをご報告いたします。

エド・フタ (布田) R I 事務総長



12/9	12/16	12/23	
クリスマス家族会	会長・幹事前期を終えて	祝日の為休会	
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)
12 / 3 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	△創立 40 周年式典の為 12 月 1 日に変更
	鹿児島西	山形屋	会員卓話
	鹿児島南	ゆうづき	クラブ協議会(年次総会)
12 / 4 (木)	鹿児島東	山形屋	△忘年家族会 18:30~サンデイズイン鹿児島
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	年次総会
	チンクランド	鹿児島東急イン	年次総会
12/5(金)	鹿児島	山形屋	会員卓話
12/8(月)	鹿児島中央	山形屋	年次総会
12/9(火)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	年次総会